

令和4年(2022年)度 滝川第二中学校 入試問題の傾向(国語)

【出題のねらい】

- (1) 長文を確実に読むための基礎的な能力を問います。
…将来どのような分野に進んでも、常に文献を「読み込む」ことが要求されます。そのための精神的に耐える力や基本的な社会的知識の有無を問います。
- (2) 幅広い語彙力と国語常識を問います。
…文献を読み込んでいくための最低限の国語的知識を問います。

【出題の内容】

- (1) 塾用(一般向け)教材で、着実に基本レベルの学力を習得してきた受験生に対応しています。
 - ① 標準的な中学受験用教材で学習して、基本レベルが確実に身に付いていれば、解答して合格できる出題レベルです。
 - ② 一部問題には、応用・発展レベルの新傾向問題を配置し、形式にとらわれない応用力の発揮を期待します。
- (2) 出題領域
…国語領域の全範囲を出題します。ただし、解釈が分かれやすい韻文(詩・短歌・俳句)については、許容排除のため定式化しやすい出題(いわゆる「定番の問題」)になりやすい点と、情操教育における伸びやかな発想の阻害の可能性を考慮して出題しません。(入学後でも十分な教育が可能と考えています。)
 - ① 説明文など
…小学生が最も読解が苦手な文種です。論理的な思考力と、少々わからない語句や内容があっても、最後まで読み切るための精神的に耐える力を試みます。
 - ② 随筆(物語文)など
…最も読解が楽な「随筆」、小学生が最も得手とする「物語文」などを配置します。論理的な思考力のみになく、「人を思いやる心」などの情緒面で、成長の基盤となる素養を備えているかを試みます。

【配点割合】

- ・ 説明文など
 - ・ 随筆(物語文)など
 - ・ 国語的知識 ...30%
- } 70%

【解答の形式】

- (1) 問題文は上記の①(説明文)・②(随筆・物語文)を合わせて6000~7000字程度の文章で構成し、記述問題(本文中からの書き抜きを含む)とします。
- (2) 受験生がまとめる問題・作文等を配置し、単なる「教科としての国語」にとらわれない問題も含まれます。

【採点基準】

- (1) 漢字書き取りのトメ・ハライ・ハネは減点しません。
- (2) 記述式問題においては、指定された字数に満たない場合は減点します。
- (3) 書き抜き問題における誤字・脱字は減点します。
- (4) 記述式における行頭の「。」、「、」は減点しません。
- (5) 1マス空けない書き出しも減点しません。(作文用紙ではなく、記述式解答欄のため。)

【A日程午前試験・B日程試験・C日程試験】

A I日程・B日程は50分、150点満点。A II C日程は40分、100点満点

令和4年(2022年)度 滝川第二中学校 入試問題の傾向(算数)

【出題のねらい】

- (1) 入学後の授業および自学に耐えられる学力の有無を問います。
…本校における6年間の学習後の到達目標レベルまで数学を学び、その習得のための自学に耐えるために最低限必要な基礎的事項の理解度・能力(計算力と基本的知識)・運用能力の基本の有無を確認します。
- (2) 幅広い応用力の基礎となる知識量と論理的思考力を構成する能力を問います。
…解法パターン(公式)の暗記絶対量・問題の読み取り・問題内容の把握・解答を導くための諸条件の分析力・立式から解答完成までの構成力とそれらの総合的能力としての論理的思考力までを問います。

【出題の内容】

- (1) 塾用(一般向け)教材で、着実に基本レベルの学力を習得してきた受験生に対応しています。
 - ① 標準的な中学受験用教材で学習を積み重ね、基本レベルが確実に身に付いていれば、解答できる問題です。
 - ② 一部問題には、応用・発展レベルの問題を配置し、形式にとらわれない応用力の発揮を期待します。
- (2) 出題領域
…算数の全範囲および数学の基本となる全範囲を出題します。
 - ① 重要領域
…特に大学受験レベルに対応するためには、数学に直接つながり、また応用範囲の広い領域として「数の性質」「規則性」「速さとグラフ」等の領域は重要視しています。
 - ② 自習能力および応用力の基盤としての作業を伴う問題
…応用力としての基盤でもある試行錯誤は、同時に数学における難問へのアプローチでもあります。よって、おっくうがらずに条件を整理し、的確な表現になるまでの作業を伴う問題を出題する場合があります。また、解法の途中で、そのような作業が発生する問題を出題する場合があります。したがって、たとえ解答に必要ななくても、定規とコンパスは必ず準備してください。

【出題形式】

- ①, ② 整数・小数・分数の混合計算・一行問題を中心に出题します。
- ③~⑥ (A2およびC日程は、③~⑤) 大問ごとに導入から発展へと考える問題を、小問に分けて出題します。

【解答の形式】

解答欄には、解答のみ記入してください。(単位は記載済みです。)

【採点基準】

- (1) 約分されていない場合は減点します。
- (2) 帯分数になっていない場合(仮分数)であっても、減点対象としません。(数学への連続性確保のため)

【A日程午前試験・B日程試験】

試験時間 50分、150点満点

【A日程午後試験・C日程試験】

試験時間 40分、100点満点

令和4年(2022年)度 滝川第二中学校 入試問題の傾向(理科)

【出題のねらい】

- (1) 入学後における授業理解、および6年後の進路目標を達成し得る能力の有無を問います。
…本校では中高一貫教育の特性を活かし、観察・実験などを通じて多角的に理科を学び、各々の生徒の特性・志望に合わせた進路指導を行います。その実現のため、最低限必要な基礎的事項の理解や計算能力、科学的考察力の有無を確認します。
- (2) 帰納法の基盤となる知識量と、演繹法の基盤となる思考力を問います。
…事象に対し、予測・実験・結果確認・原因追求を行うことができる能力の有無を確認します。また、観察・実験を通じ、その結果から論理的に考察する力を育てるため、科学的に物事を把握する力を問います。

【出題の内容】

- (1) 塾用(一般向け)教材で、着実に基本レベルの学力を習得してきた受験生に対応しています。
 - ① 標準的な中学受験用教材で学習し、基本レベルが確実に身に付いていれば、解答して合格できる出題レベルです。
 - ② 一部問題には、応用・発展レベルの新傾向問題を配置しています。過去に扱った類題は少ないかもしれませんが、問題文をよく読み、常に試行錯誤することで解答にたどり着くことができます。
- (2) 出題領域
 - ① 小学校理科の全範囲、および将来の各分野(物理・化学・生物・地学)の基本からバランスよく出題します。
 - ② 各分野における基礎的な知識を問うとともに、観察・実験の目的とその理解、データを数値処理する出題や実験装置に関する出題、作図を要求する出題などがあります。また、作図の際には、定規・コンパスの使用を求める場合があります。

【出題の形式】

- ① 物理…基礎的な知識・実験に関する理解、科学的な考察や計算問題など
- ② 化学…基礎的な知識・日常生活の中の自然現象に対する科学的な考察、及びデータ解釈、計算問題など
- ③ 生物…基礎的な知識・日常生活の中の自然現象に対する科学的な考察、及びデータ解釈、計算問題など
- ④ 地学…基礎的な知識・自然に関する話題や理由などの説明など

【解答の形式】

- (1) 解答欄には、解答だけでなく単位まで記入してください。(単位が記載済みの問題もあります。)
- (2) 作図問題では、解答用紙に完成図や求められた描画を描きます。

【採点基準】

- (1) かな書きや漢字のミスは、減点対象とします。
- (2) 考え方・作図に関しては、部分点を与えます。
- (3) 数値などを記入する問題で、単位が抜けているものは減点対象とします。
- (4) 特に指定のない限り解答が分数のものは不正解として扱います。

【A日程午前試験】

試験時間 40分、100点満点。